

現代教育学部 教職課程（教育職員免許状の取得）

1. 教職課程について

現代教育学部では、幼稚園・初等・中等（理科・国語・数学）教育及び特別支援教育に関して他学部から独立した教職課程をおいている。卒業後に教育職員を志望する者は、教育職員免許法に定める教育職員免許状を取得する必要があるため、卒業に必要な所定の単位を取得するとともに、次に定める教職課程において必要な科目を履修しなければならない。

なお、教育職員として就職するためには教育職員免許状を取得し、教員採用試験に合格しなければならない。公立学校については、都道府県や市の教育委員会による採用試験が行われ、私立学校については、私学協会が行う私学適性検査や該当園、該当校での採用試験が行われる。

2. 取得可能な免許状について

学 科	免許状の種類
幼 児 教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状
現 代 教 育 学 科 (現 代 教 育 専 攻)	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(理科) 特別支援学校教諭一種免許状
現 代 教 育 学 科 (中 等 教 育 国 語 数 学 専 攻)	中学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(数学)

3. 免許状取得のための基礎資格と単位取得

免許状を取得するためには、教育職員免許法で定められた「基礎資格」と、同法施行規則に定められた科目についての単位を修得する必要がある。

	基礎資格	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	「教育の基礎的理解に関する科目」等	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目
幼稚園	学士の学位を有すること	16単位以上		21単位以上	14単位以上	8単位以上
小学校	学士の学位を有すること		30単位以上	27単位以上	2単位以上	8単位以上
中 学	学士の学位を有すること		28単位以上	27単位以上	4単位以上	8単位以上

学 校 種	基 礎 資 格	特 別 支 援 教 育 に 関 す る 科 目
特別支援教育	学士の学位を有すること ●小学校教諭一種免許状の取得要件を満たすこと	26単位以上

4. 現代教育学部において免許状取得に必要な最低修得単位数について

中学校教諭（理科・国語・数学）では「大学が独自に設定する科目」の開設がないため、前表に記載している「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」「『教育の基礎的理解に関する科目』等」の必要単位数を超えて修得した単位数をもって充てるものとする。

免許種	対象学科	基礎資格	必要な科目および単位数		
			専 門 科 目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	
幼稚園教諭 一種免許状	幼児教育学科	学士	領域及び保育内容の指導法に関する科目 17単位以上	合計 51単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 23単位以上		
			大学が独自に設定する科目		
小学校教諭 一種免許状	現代教育学科 （現代教育専攻）	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 30単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 29単位以上		
			大学が独自に設定する科目		
中学校教諭（理科） 一種免許状	現代教育学科 （現代教育専攻）	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 28単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 29単位以上		
特別支援学校 一種免許状	現代教育学科 （現代教育専攻）	学士 ※	特別支援教育に関する科目 27単位以上		
中学校教諭（国語） 一種免許状	現代教育学科 （中等教育国語数学専攻）	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 28単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 29単位以上		
中学校教諭（数学） 一種免許状	現代教育学科 （中等教育国語数学専攻）	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 28単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 29単位以上		

※特別支援学校教諭一種免許状は、小学校教諭の免許状取得と同時に履修しなければならない。（特別支援学校教諭免許状のみの取得はできない。）

5. 必要単位数の詳細について

<教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等			
科目	単位数	授業科目	単位数	教職課程必修科目	備考
日本国憲法	2	日本の憲法	2	○	
体育	2	健康科学	1	○	
		スポーツ A	1		
		スポーツ B	1		
		スポーツ C	1		
外国語コミュニケーション	2	英語スキル I	1		同一言語の科目を2単位修得すること
		英語スキル II	1		
		英語スキル III	1		
		英語スキル IV	1		
		ドイツ語入門 I	1		
		ドイツ語入門 II	1		
		フランス語入門 I	1		
		フランス語入門 II	1		
		中国語入門 I	1		
		中国語入門 II	1		
		スペイン語入門 I	1		
		スペイン語入門 II	1		
		ポルトガル語入門 I	1		
		ポルトガル語入門 II	1		
		韓国語入門 I	1		
		韓国語入門 II	1		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報スキル入門	2		
		情報スキル活用	2		
合計	8	最低修得単位数	8		

幼児教育学科

< 「教育の基礎的理解に関する科目」等 >

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	必 教 修 職 課 程 科 目	備 考
		幼稚園		幼稚園		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	○	
			保育原理	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育と社会	2	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2 2	○	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育（幼児）	2	○	
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程と保育の計画	2	○			
道徳、総合的な学習の時間等の指導、及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法学	2	○	
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解と教育相談	2	○	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導（幼稚園）	1	○	
			教育実習（幼稚園）	4	○	
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	○	
合 計		21	最低修得単位数	23		

幼児教育学科

<領域及び保育内容の指導法に関する科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	必修 科目
		幼稚園		幼稚園	
領域に関する専門的事項	健康	16	健康と体育	1	○
	人間関係		人間関係と生活	1	○
	環境		環境と生活	1	○
	言葉		言葉と生活	1	○
	表現		表現活動（身体）	1	○
			表現活動（音楽）A	1	○
			表現活動（音楽）B	1	○
			表現活動（造形）	1	○
			幼児音楽	1	○
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		幼児造形	1	○
保育内容指導（健康）		1	○		
保育内容指導（人間関係）		1	○		
保育内容指導（言葉）		1	○		
保育内容指導（音楽表現）		1	○		
保育内容指導（造形表現）		1	○		
保育内容指導（環境）		1	○		
保育内容総論	1	○			
合計		16	最低修得単位数	17	

<大学が独自に設定する科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等	
科目	授業科目	単位数	
大学が独自に設定する科目	子どもの遊び研究	2	
	子どもの外国語研究	2	
	保育・教育インターンシップ	1	
	保育総合活動（音・身・造）	2	
	子どもの保健	2	
	子どもの健康と安全	1	
	子どもの食と栄養A	1	
	子どもの食と栄養B	1	
	子ども家庭支援論	2	

※「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は本学における最低修得単位数を越えて履修した「P. 377領域及び保育内容の指導法に関する科目」もしくは「P. 376「教育の基礎的理解に関する科目」等」について併せて11単位以上修得すること。

現代教育学科現代教育専攻（小学校）

<「教育の基礎的理解に関する科目」等>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	必 教 修 職 科 目 課 程	備 考
		小学校		小学校		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理（小・中）	2	○	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	2	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度と社会	2	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（小・中）	2	○	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ教育A	1	○	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論A	2	○	
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法A	2	○	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法A	1	○	
	特別活動の指導法		特別活動指導法A	1	○	
	教育の方法及び技術		教育方法学A	1	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法と技術A（情報通信技術の活用を含む）	2	○	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導A	2	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談A	2	○	
教育実践に関する科目	教育実習	5	小学校教育実習指導	1	○	
			小学校教育実習	4	○	
	教職実践演習	2	教職実践演習（小・中）	2	○	
合 計		27	最低修得単位数	29		

- 3年次に実施される「介護等体験」に参加する必要がある。

現代教育学科現代教育専攻（小学校）

<教科及び教科の指導法に関する科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	義務必修科目
		小学校	小学校	小学校	
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	国語科研究	1	○
	社会		社会科研究	1	○
	算数		算数科研究	1	○
	理科		理科研究	1	○
	生活		生活科研究	1	○
	音楽		音楽科研究	1	○
	図画工作		図画工作研究	1	○
	家庭		家庭科研究	1	○
	体育		体育科研究	1	○
	外国語		外国語研究	1	○
	国語（書写を含む。）		国語科教育法	2	○
	社会		社会科教育法	2	○
	算数		算数科教育法	2	○
	理科		理科教育法	2	○
	生活		生活科教育法	2	○
	音楽		音楽科教育法	2	○
図画工作	図画工作教育法	2	○		
家庭	家庭科教育法	2	○		
体育	体育科教育法	2	○		
外国語	外国語教育法	2	○		
合計	30	最低修得単位数	30		

<大学が独自に設定する科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等	
科目	授業科目	単位数	
大学が独自に設定する科目	教育統計学基礎	2	
	多文化共生と教育	2	
	生涯学習論	2	
	人権教育論	2	
	教育ドラマ論	2	
	観察実習指導	1	
	観察実習	1	
	発達心理学	2	

現代教育学科現代教育専攻「理科」(中学)

<「教育の基礎的理解に関する科目」等>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	必 教 修 職 課 目 程	備 考
		中 学		中 学		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理(小・中)	2	○	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		学校制度と社会	2	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学(小・中)	2	○	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ教育B	1	○	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論B	2	○	
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法B	2	○	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法B	1	○	
	特別活動の指導法		特別活動指導法B	1	○	
	教育の方法及び技術		教育方法学B	1	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法と技術B(情報通信技術の活用を含む)	2	○	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導B	2	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談B	2	○	
教育実践に関する科目	教育実習	5	中学校教育実習指導	1	○	
	教職実践演習		中学校教育実習	4	○	
	教職実践演習	2	教職実践演習(小・中)	2	○	
合 計		27	最低修得単位数	29		

- 3年次に実施される「介護等体験」に参加する必要がある。

<教科及び教科の指導法に関する科目>

現代教育学科現代教育専攻「理科」(中学)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	履 修 必 修 科 目	
		中学		中学		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	20	理科概論A(中学物理)	2	○	
			科学教育演習A(中学物理)	1		
			理科特講A(中学物理)	2		
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)		理科実験A(中学物理)	1	○	
	化学		理科概論B(中学化学)	2	○	
			科学教育演習B(中学化学)	1		
			理科特講B(中学化学)	2		
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)		理科実験B(中学化学)	1	○	
	生物学		理科概論C(中学生物)	2	○	
			科学教育演習C(中学生物)	1		
			環境生物学入門	2		
			理科特講C(中学生物)	2		
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		理科実験C(中学生物)	1	○	
	地学		理科概論D(中学地学)	2	○	
			科学教育演習D(中学地学)	1		
			地球科学教育論	2	○	
			理科特講D(中学地学)	2		
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)		理科実験D(中学地学)	1	○	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	理科教育法Ⅰ(中学校)	2	○
				理科教育法Ⅱ(中学校)	2	○
理科教育法Ⅲ(中学校)		2		○		
理科教育法Ⅳ(中学校)		2		○		
合 計	28	最低修得単位数	28			

● 下線は一般的包括的な科目を指す。

現代教育学科中等教育国語数学専攻「国語」「数学」(中学)

<「教育の基礎的理解に関する科目」等>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	必修 教職課程 科目	備 考
		中 学		中 学		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2	○	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門(中学校)	2	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		学校教育心理学	2	○	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ教育(中学校)	1	○	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論(中学校)	2	○	
指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法(中学校)	2	○	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法(中学校)	1	○	
	特別活動の指導法		特別活動指導法(中学校)	1	○	
	教育の方法及び技術		教育方法学(中学校)	1	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	2	○	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導(中学校)	2	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(中学校)	2	○	
教育実践に関する科目	教育実習	5	中学校教育実習指導	1	○	
			中学校教育実習	4	○	
	教職実践演習		教職実践演習(中学校)	2	○	
合 計		27	最低修得単位数	29		

- 4年次に実施される「介護等体験」に参加する必要がある。

<教科及び教科の指導法に関する科目>

現代教育学科中等教育国語数学専攻「国語」(中学)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数			
		中学	中学	必修 修得科目			
教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	日本語学概論	2	○		
			日本語音声学	2			
			日本語文法論	2			
			言語表現法演習A	1			
			言語表現法演習B	1			
			日本語学研究法	2			
			日本近現代文学概論	2	○		
			日本古典文学概論	2	○		
			日本近現代文学演習	1			
			日本古典文学演習	1			
	国文学(国文学史を含む。)	20	20	日本近現代文学研究法	2		
				日本古典文学研究法	2		
				漢文学概論	2	○	
				漢文学演習	1		
	漢文学	20	20	書写・書道A	2	○	
				書写・書道B	2		
	書道(書写を中心とする。)	20	20	国語科教育法Ⅰ(中学校)	2	○	
				国語科教育法Ⅱ(中学校)	2	○	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	20	20	国語科教育法Ⅲ(中学校)	2	○	
				国語科教育法Ⅳ(中学校)	2	○	
合計				28	最低修得単位数	28	

● 下線は一般的包括的な科目を指す。

現代教育学科中等教育国語数学専攻「数学」(中学)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等						
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数				
		中学	中学	必修 修得科目				
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	20	数学基礎演習	1	○			
			代数学概論	2	○			
			代数学演習	1				
			代数学	2				
			代数学統論	2				
			代数学研究法	2				
			幾何学	20	20	幾何学概論	2	○
						幾何学	2	
						幾何学演習	1	
						幾何学統論	2	
	解析学	20	20	幾何学研究法	2			
				解析学概論	2	○		
				解析学演習	1			
				解析学	2			
	「確率論、統計学」	20	20	解析学研究法	2			
				確率統計概論	2	○		
	コンピュータ	20	20	確率統計演習	1			
				確率統計研究法	2			
				計算機概論	2	○		
				計算機演習A	1			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	20	20	計算機演習B	1				
			数学科教育法Ⅰ(中学校)	2	○			
			数学科教育法Ⅱ(中学校)	2	○			
			数学科教育法Ⅲ(中学校)	2	○			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	20	20	数学科教育法Ⅳ(中学校)	2	○			
			合計	28	最低修得単位数	28		

● 下線は一般的包括的な科目を指す。

6. 特別支援学校教諭一種免許状

この免許状は、小学校教諭の免許状取得と同時に取得しなければならず、特別支援学校教諭免許状だけの取得はできない。したがって、小学校教諭一種免許状の取得要件を満たすことに加えて、「特別支援教育に関する科目（以下の表）」において示した単位を修得することが必要である。

特別支援教育に関する科目

表中の○印は必修科目

教科に関する科目				
免許法施行規則に定める科目区分	本学における開講科目及び単位数		教職課程 必修科目	備考
	授業科目	単位数		
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育総論	2	○	27単位以上修得すること
特別支援教育領域に関する科目	知的障害児の心理	2	○	
	知的障害児の生理・病理	2	○	
	肢体不自由児の生理と病理	1	○	
	肢体不自由児の心理	1	○	
	病弱児の生理と病理	1	○	
	病弱児の心理	1	○	
	知的障害児の教育A	2	○	
	知的障害児の教育B	2	○	
肢体不自由児の教育	2	○		
病弱児の教育	2	○		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	発達臨床心理学	2	○	
	視覚障害児の心理と教育	1	○	
	聴覚障害児の心理と教育	1	○	
	重複障害児の心理と教育	1	○	
	L D 児の心理と教育	1	○	
	教育アセスメント	2	○	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援学校教育実習指導	1	○	
	特別支援学校教育実習	2	○	

7. 教職課程の履修について

現代教育学部の教職課程は、他学部の教職課程から独立して運営されている。したがって、本学部で幼稚園・小学校・中学校（理科・国語・数学）および特別支援学校の教育職員免許状の取得を希望する学生は、他学部の教職課程で開設されている科目を履修することはできない。教職課程に関するガイダンスも幼児教育学科・現代教育学部でそれぞれ実施するので注意すること。

また、他学部の教職課程で開設されている科目は、高等学校教諭・中学校教諭（国語・英語・社会）・養護教諭・栄養教諭の教育職員免許状取得のために開設されている科目である。幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭（理科・国語・数学）・特別支援学校教諭の教育職員免許状取得のための科目ではないため、必ず現代教育学部で開設されている科目を履修すること。

8. 教育実習等について

教育職員免許状を取得するためにはいくつかの実習を行う必要がある。各実習を行うためには、それぞれの実習ごとに設定された履修条件を満たす必要がある。

(1) 教育実習（幼稚園）

幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、教育実習の単位を修得する必要がある。幼児教育学科における教育実習は、7期（4年次春学期）に行うこととし、実習期間は4週間以上としている。

教育実習に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。

(2) 小学校教育実習

小学校教諭一種免許状を取得するためには、教育実習の単位を修得する必要がある。現代教育専攻における教育実習は、5期（3年次春学期）に行うこととし、実習期間は3週間以上としている。

教育実習に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。

(3) 中学校教育実習（理科）

中学校教諭一種免許状（理科）を取得するためには、教育実習の単位を修得する必要がある。現代教育専攻における中学校教育実習は、7期（4年次春学期）に行うこととし、実習期間は3週間以上としている。

教育実習に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。

(4) 中学校教育実習（国語・数学）

中学校教諭一種免許状（国語・数学）を取得するためには、教育実習の単位を修得する必要がある。中等教育国語数学専攻における中学校教育実習は、5期（3年次春学期）に行うこととし、実習期間は3週間以上としている。

教育実習に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。

(5) 特別支援学校教育実習

特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得するためには、小学校における教育実習に加えて、特別支援学校においても教育実習を行い、単位を修得する必要がある。現代教育専攻における特別支援学校教育実習は、7期（4年次春学期）に2週間以上行う。また、本教育実習を履修するためには、小学校教諭一種免許状の取得予定者であることが条件となる。

教育実習に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。

(6) 介護等体験

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」によって、教育職員志願者に対し介護等体験を義務づけている。介護等体験とは、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流のほか、障害者等の話し相手、散歩の付き添い等の体験、掃除や洗濯のような受け入れ施設の職員に必要とされる業務の補助等も含む幅広いもの」とされている。介護等体験の期間は、社会福祉施設5日間と特別支援学校等2日間の計7日である。

介護等体験に係る諸留意事項については、実習オリエンテーション時に伝える。詳細は「実習の手引き」に示す。